

テーマ2

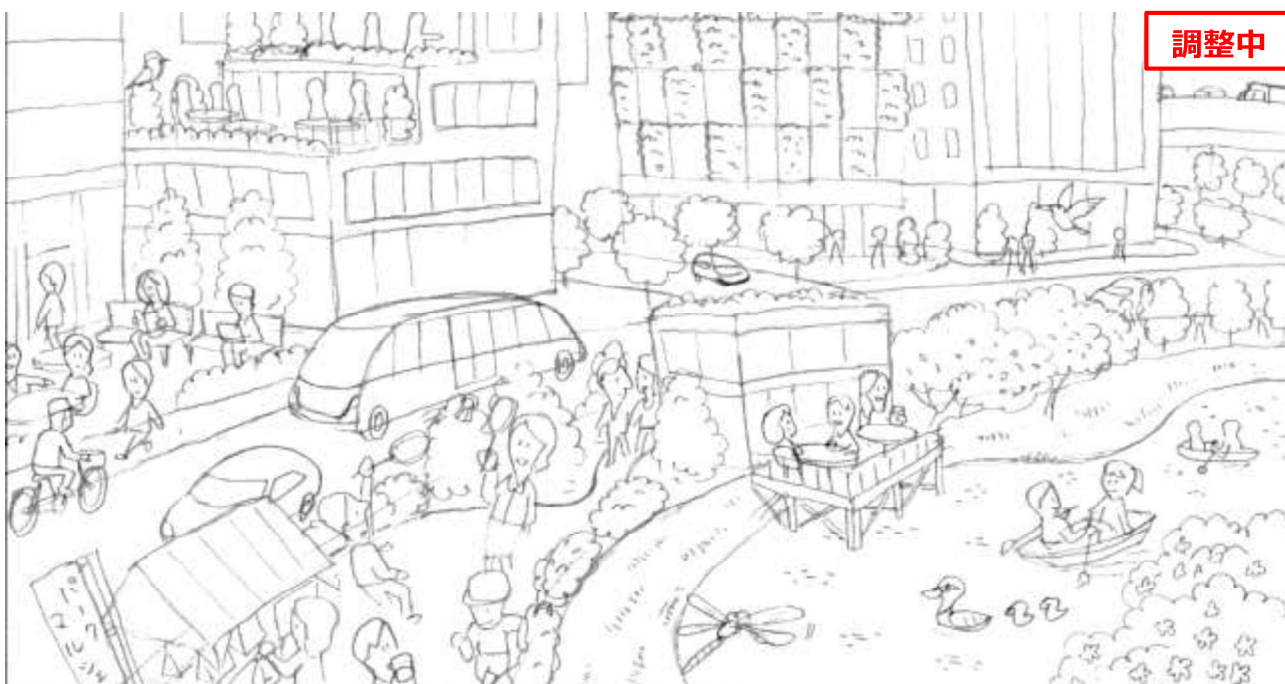
緑と水辺がつなぐ

良質な空間をつくり、活かすまちづくり

未来へのまなざし

居心地の良い空間の多様性

調整中



歴史・文化がつながる

- ◇江戸城の遺構と緑と水の骨格が形づくる都心の豊かな環境創造軸
- ◇生き物の多様性、過ごしやすさをもたらす生態回廊

ひと・まち・コミュニティがつながる

- ◇都心の環境や眺望、界隈の個性を活かし、多様なひとが思い思いのスタイルで豊かに時間を過ごせる居場所
- ◇公共・民間のオープンスペースがつながり、心地よく過ごし、歩ける空間

未来・世界へとつながる

- ◇国内にとどまらず、世界中のひとから親しまれる都心の豊かな環境

あらゆる情報でつながる

- ◇先端技術やICTを活用した効率的なオープンスペースの維持管理・活用や多彩なサービス(ビジネス)

1 概況

(1) これまでの目標

緑と水辺を守り、つくり、つなげ、より身近なものに

- 生活にうるおい、やすらぎを与える緑や水辺などの自然の役割を十分活かす
 - ・歩道に木陰をつくる
 - ・ヒートアイランド現象の緩和
 - ・大気の浄化
 - ・鳥や昆虫の棲める環境づくり
 - ・良好な景観づくり
 - ・防災性の向上
- 今あるかけがえのない豊かな緑と水辺を守り、そしてさらに、つくり、つなげることで、より身近で自然に親しみ、安らぎを感じられるまちにしてい

(2) これまでのまちづくりの主な取組み・成果

- 緑化率の最低限度を定める地区計画や「千代田区緑化推進要綱」による緑化指導により、敷地内や屋上への緑化を推進し、緑被面積が平成 15（2003）～平成 30（2018）年の間に約 8 ha 増加しました。
- 総合設計制度などの都市開発諸制度や都市再生特別地区による開発事業、地区計画による担保により、官民連携で平成 10（1998）～平成 30（2018）年の間に約 485,493 m²の空地が整備されました。（平成 9（1997）年以前に整備された空地面積の約 2.5 倍）
- 千鳥ヶ淵緑道や大手町川端緑道の整備等により、緑豊かな水辺の歩行者ネットワークが拡大しました。
- 区の花さくら再生事業や道路・公園等のアダプトシステムの促進を通じて、緑化推進の普及啓発を展開しています。



道路と一体性の高い開放的な空地
（神田錦町）



日本橋川を軸に連続して整備された大手町川端緑道

(3) これからのまちづくりの視点・論点

- 風の道、生態回廊がつながり、生物の多様性を育む心地よい都心環境
- 水辺空間などの多様な機能の連携（グリーンインフラ）
- サードプレイスなど、都心生活の質を高める空間の創出（プレイスメイキング）
- まちを歩く目線で豊かさを感じる空間と立体的な空間の連続性
（建物低層部、建物周囲の空地、道路・公園等の公共空間、外部空間と連続する建物低層部の空間、屋上・テラスなど眺望を楽しむ空間など）
- 豊かな都心生活をもたらす緑と空間のデザインと維持管理・活用のマネジメント
- 空間の認定・評価や企業貢献を促進し、環境を豊かにしていく制度活用
- 維持管理・活用への参画や合意など、区民等の緑とのかかわり

(4) これからのまちづくりの課題

これまでのまちづくりで、都市開発諸制度の活用や都市再生特別地区による開発事業等によって空地が増加しています。

緑被率について、千代田区全体としては、皇居や皇居外苑、日比谷公園、靖國神社、外濠公園等の大規模な公園・緑地が多いものの、平成 15（2003）～平成 30（2018）年にかけては、約 20.4%から約 23.2%と 2.8 ポイントの増加にとどまっています。また神田エリアの緑被率は特に低くなっており、皇居や外濠・内濠等から距離の離れた区域では、緑の量が不足しているものと推測されます。

そのため、これからのまちづくりの視点・論点をふまえ、以下の課題に取り組んでいく必要があります。

○皇居等の大規模な緑地や水辺の連続性の高い身近な空間の創出

皇居や内濠、外濠などの江戸城の遺構や日比谷公園、靖國神社など、歴史的価値のある大規模な公園・緑地や水辺を活かし、都心・千代田が国内外から訪れるひとに愛されるように、都心ならではの快適な環境を次世代に継承していくことが重要です。

また、公園・緑地や水辺、道路、開発等によって生まれる民有の空地など、身近で多様な空間の連続性を高めて、まちにうるおいをもたらす、心地よい風が通る空間を広げていくことが必要です。

○都心生活の魅力・価値を一層高める空間の維持管理と活用

まちの魅力・価値をさらに一層高めるため、住み、働き、訪れ、活動する多様なひとがそれぞれのスタイルで心地よく過ごし、時間の豊かさを感じられるような場所を増やしていくことが重要です。

さらに、空間はつくるだけにとどまらず、空間を利用した活動がまちの文化を醸成し、魅力を高めたいけるよう、創意あふれる維持管理や活用を行っていくことが必要です。

2 方針・取組み

皇居を中心に多様な生命が息づく緑と水辺を骨格として、居心地のよい空間のネットワークを広げ、都心生活を豊かにしていく創造的活用を活発にしていきます。

方針 1

江戸城の遺構を骨格とした緑と水辺の継承と充実

緑と水辺の心地よさが際立ち、安らぎを感じる環境創造軸を形成します。

- 皇居を中心としたまとまった緑、内濠・外濠の桜並木や土手の緑など、今あるかけがえのない豊かな緑と水辺の環境を保全していきます。
- ★皇居や内濠・外濠、神田川、日本橋川などの質の高い緑と水辺から多様な生物の生息する空間や風の通り道を広げ、快適な都市環境形成を進めます。
- ★江戸から継承する遺構を顕在化・再生し、都心・千代田の歴史と風格を感じながら、心地よく過ごせる緑や親水性の高い水辺の空間をデザインし、つなげ、広げていきます。
- ★内濠・外濠、日本橋川、神田川などの水辺空間の魅力創造にむけて、水質の浄化を進めていきます。
- ★民有地の樹木や生垣などの身近な緑を保全します。
- 建築・開発においては、風の流れや緑化、水辺環境、崖線の緑等を残す自然地形に配慮した敷地利用、建物配置となるようにしていきます。

方針 2

都心生活を豊かにする空間デザイン

オープンスペースからまちづくりを考え、都心生活の主役となるひとが歩く目線で空間の質と機能を高め、連続性を強めていく建築・開発等を進めます。

- ★緑や水辺に沿って大規模開発等により創出する空地等は、ひとが歩く目線でうるおいを感じ、居心地や使い勝手が良くなるよう、周辺の空地や公共空間等と一体的にデザインされるようにしていきます。
- ★うるおいを感じる壁面・屋上等の立体的な緑を増やしていきます。
- ★ランニングやウォーキングをはじめ、日常的にスポーツや健康づくりを行える身近な場所を充実させていきます。
- ★建築・開発において、公共空間や周辺の空地等と連続性の高い協調的な空間創出を進めていきます。

- ★建築・開発によって創出される空間については、構想・計画段階から協議を行い、大規模災害発生時にも多面的な機能を発揮し、周辺に滞在する多様なひとの安全確保や救急救援活動等に貢献ができるようにデザインしていきます。
- ★緑化地域の導入及び緑化率を定める地区計画の拡大について検討していきます。

方針
3

官民連携による創造的・多面的な空間活用と維持管理

都心の多様なひとの力、“場”の力を活かして、創造的・多面的に空間を活用し、維持管理を行っていきます。

- ★既存の身近な公園・緑地、街路樹など、公共の緑の効果的な維持管理と活用を進めます。
- ★ランニングやウォーキング、子どもの遊び、ペットの散歩など、多様な目的・スタイルで訪れるひとが共生できるように、空間の維持管理を行っていきます。
- ★都心の魅力あるアクティビティを誘発し、職場と自宅の間で、日常の都心生活を豊かにする居心地の良い場所（サードプレイス）が増えていくよう、空間活用を充実させていきます。
- ★都心生活を豊かにする“場づくり（プレイスメイキング）”の活動を広げていきます。
- ★公共空間とその利活用のポテンシャル評価（Potential Public Resource）を行うなど、まちの資源として多様な空間を効果的に活用していくための手法の確立に向けた検討を進めます。
- ★市民緑地認定制度、緑の認定制度（SEGES）など、緑や水辺など都心の豊かな空間を充実させていく様々な手法・制度を効果的に活用していきます。
- ★都市計画中央公園は、複数の管理主体が連携し、一体的な管理・活用を進めていきます。

コラム 官民連携による都心生活を豊かにする空間創出・活用

千代田区では、都心の環境を楽しみ、心地よく過ごせる空間の多様性が増しています。公園・緑地等の公共空間や大規模な開発による空間創出に加えて、都心で休日を楽しむイベント等への活用、土地の暫定的利用による子どもの安全な遊び場創出など、官民の連携で豊かな空間づくりが進展しています。



歴史を感じながらくつろげる公園・緑地
(日比谷公園)



都心の緑の眺望を楽しむ開放的な空間
(日比谷)



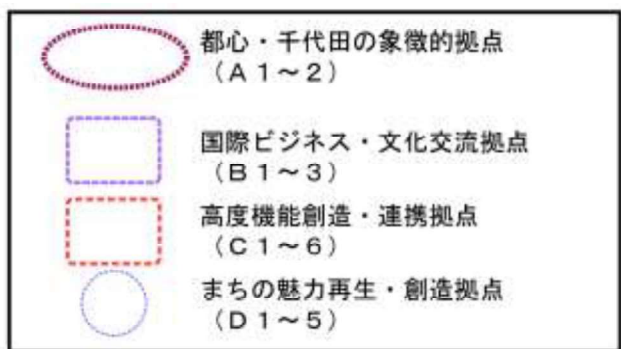
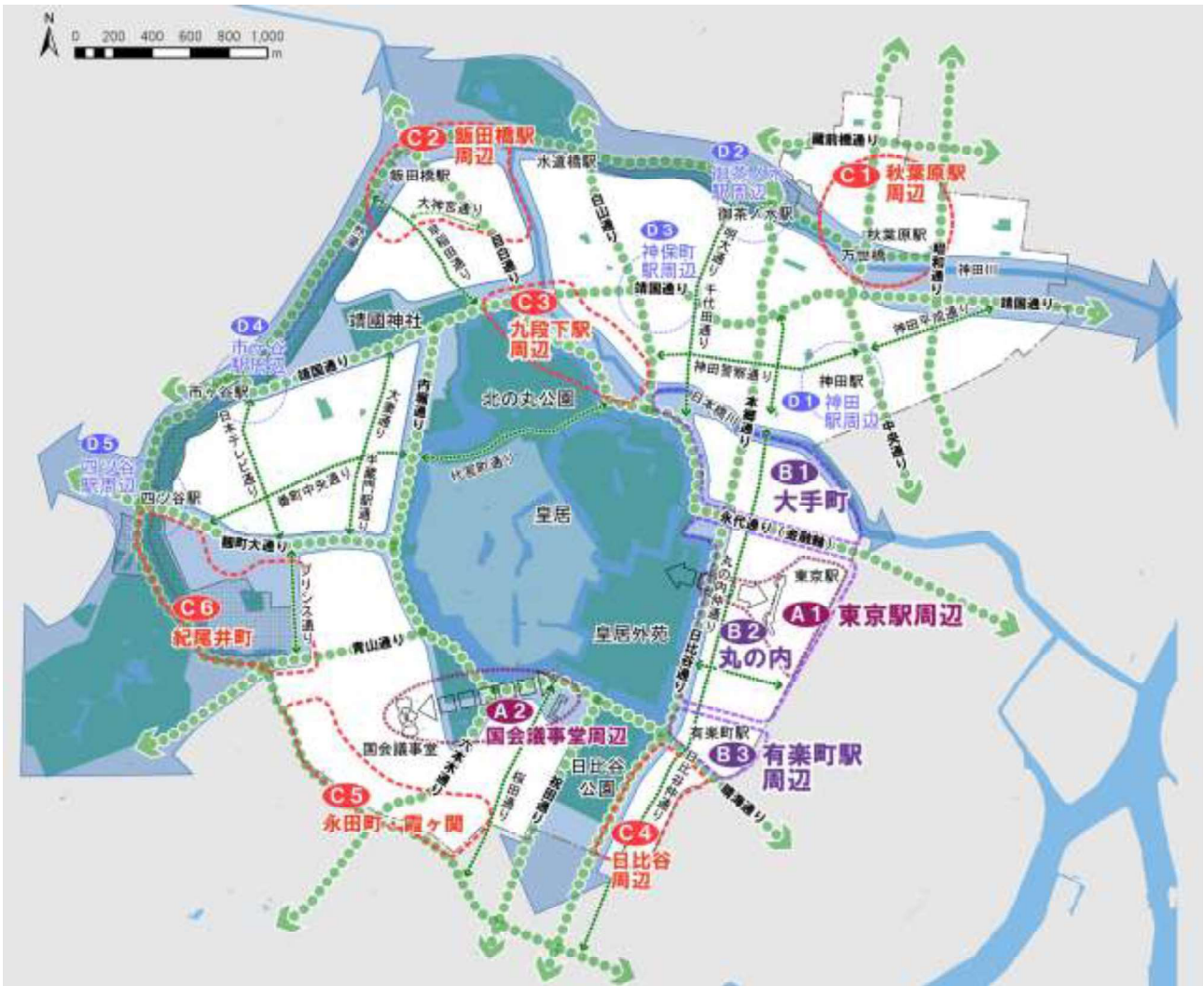
休日を楽しむ活動に活用される空地
(神田錦町)



子どもが安心して遊べる場所
(くだんしたこどもひろば) ※暫定利用

▶方針図

心地よさが際立ち、安らぎを感じる都心環境の形成



都心の骨格的な緑と水辺	
環境創造軸	江戸城の遺構としての歴史性ととともに、皇居周辺の大規模緑地、内濠、外濠、日本橋川、神田川の緑と水の骨格を保全・継承していきます。多様な生物が棲息し、多くのひとに親しまれる空間・ネットワークを形成することで、豊かで快適な都心環境を創造・継承していきます。
都市機能連携軸	都心の放射・環状の骨格的な道路沿道において、街路樹や植栽とその適切な維持管理などによって、うるおいある環境や沿道の連続性を強めていきます。
エリア回遊軸	まちと駅、個性ある界隈をつなぐ通り沿いの建物の機能更新等にあわせて、グランドレベルで緑のつながりや四季の変化を感じられる植栽、一息ついてやすらげる空間づくりなどを進めていきます。
拠点育成に伴い再生・創造する豊かな空間	
都心・千代田の象徴的拠点	東京駅丸の内駅舎、駅前広場、行幸通りなど、首都・東京の顔となる象徴的空間を中心に、周辺街区の建築物や敷地内の空地と緑、道路等の公共空間などがトータルデザインのもとに連続性と一体性を保ち、親しみ活用される拠点としていきます。 国会議事堂及び周辺においては、首都機能を象徴する景観と空間構成を継承する拠点としていきます。
国際ビジネス・文化交流拠点	都心ならではの国際的な都市機能や多彩な都市機能が高度に集積するなかで、「都心の骨格的な緑と水辺」との連続性を高めながら、働き、訪れ、滞在するひとがより豊かな時間を過ごし、都心の多様な活動に参加し、体験・交流できる空間がつながり、広がっていく拠点としていきます。
高度機能創造・連携拠点	まちの顔となる主要な都市機能が集積するなかで、緑と水辺、公共・民間の空間、地上・地下の連続的・一体的なデザインや空間活用を進め、多様なひとが集まり、活動しやすい環境を充実させていく拠点とします。
まちの魅力再生・創造拠点	複数の鉄道路線が乗り入れる利便性の高い駅周辺で、地上・地下の移動しやすい空間、安全でゆったりと滞留できる空間、緑ややすらぎを感じる空間が充実し、駅とまちのつながりを充実させていく拠点とします。
エリアごとの個性的な空間のつながり	
麹町・番町・富士見エリア	内濠・外濠などの骨格的な緑と水辺に囲まれ、居住と商業・業務機能、大使館、教育施設などが調和した落ち着いた落ち着きある市街地環境と都心生活がより豊かになるよう、建物（壁面・屋上等）や敷地内の緑化、視覚的な緑の連続性を高め、うるおいを感じる街並みを形成するとともに、世代を超えた交流や多様性を活かした新たなコミュニティ、文化を育てる空間の充実を進めていきます。
秋葉原・神田・神保町エリア	江戸の下町の風情や味わいある建物、路地の奥行きを感じる空間や小さな緑を大切にし、比較的小規模な敷地でも活用可能な壁面・屋上の緑化を進めていきます。また、道路・公園等の既存の公共空間との一体的な空間、街区レベルの開発等を契機に新たな空間をデザインし、まちの活力、賑わい、文化を継承・創造していく“場所”としていきます。
都心中枢エリア	「都心・千代田の象徴的拠点」、「国際ビジネス・文化交流拠点」において、都心ならではの豊かな空間の創造を進めます。永田町・霞ヶ関の一带（一団地の官公庁施設）においては、国会議事堂周辺の緑地や日比谷公園、内濠等の水辺と一体的な環境を保ち、緑豊かな国家中枢機能の風格を継承・創造していきます。

3 主体別の取組み

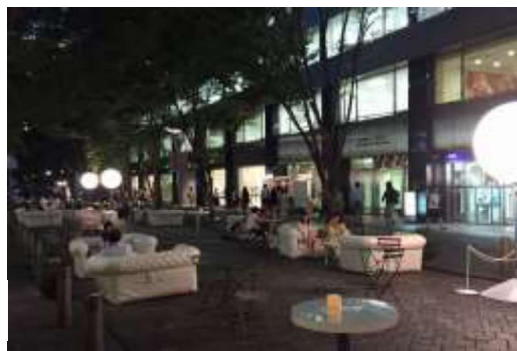
住 民	企 業	行 政
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 植栽活動や清掃活動など、アダプト活動への参加 ◇ 様々なスタイルでまちの多様な空間を活用し、生活の魅力を高める仲間づくりや活動 ◇ 魅力ある空間の活かし方、過ごし方のノウハウの蓄積と情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 所有する空地や屋上・テラス等の魅力や開放性の向上 ◇ 建築・開発の計画・構想段階から緑の量や居心地の良さ、地域での使い勝手を考慮した空間の創出 ◇ 建築・開発時における公共空間整備への貢献 ◇ 創意ある空間活用の企画や活動の事業化 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 緑と水辺の骨格（公園・緑地、河川等）の保全と適切な維持管理 ◇ 東京都や周辺区と連携した外濠・内濠・河川の水質浄化などの水辺の環境改善 ◇ 公共空間の緑化・維持管理 ◇ 協調的な空間デザインのための基準や指針・ガイドライン、ルールの策定 ◇ 民有の空地等と一体となった公共空間の効果的利用を誘導する制度運用

主体間の連携による効果的なまちづくりの例

身近な緑の創出・維持管理に取り組むアダプト活動（麹町子どもの広場〔仲良し公園〕）



道路の効果的活用によって生まれる都心のくつろぎ空間（丸の内仲通り）



写真提供：NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会 (Ligare)

歴史的遺構を再生し、にぎわい施設となった水辺の空間（万世橋）



夜間でも安心して過ごせるようデザインされた空間（日比谷）



4 他テーマとの連携

テーマの幹となるまちづくりの「方針・取組み」とともに、他の複数のテーマとのまちづくりの効果的な連携と相互補完を意識して、分野の境目のない取組みを進めていきます。

テーマ2

緑と水辺がつなぐ良質な空間をつくり、活かすまちづくり

効果的な連携と相互補完

テーマ1：豊かな都心生活と住環境を守り、育てるまちづくり

- ★屋上緑化や緑道の整備など身近な緑の整備と一体となった魅力的な居住環境の充実

テーマ3：都心の風格と景観、界隈の魅力を継承・創出するまちづくり

- ★象徴的景観などを活かした開放的な眺望空間の充実
- ★次世代における水辺のつながりのデザイン
- ★都市の緑を活かし、水辺に顔を向けた建築誘導による景観形成の推進
- ★界隈を楽しむ魅力や空間・機能、サイン等の情報案内などの充実

テーマ5：多様性を活かすユニバーサルなまちづくり

- 多様な人が自然とふれ合い、交流する機会の充実
- ★子ども、高齢者、外国人来訪者などが安心してくつろげる空間の創出

テーマ6：災害時にしなやかに対応し、回復力の高い強靱なまちづくり

- 避難路としての機能強化に配慮した街路樹や植栽帯の充実
- ★災害時等の利用・貢献を想定した緑と水辺の空間デザインの創出や維持管理
- 延焼防止にも資する公園・広場などのオープンスペースの確保
- ★特定緊急輸送道路・緊急輸送道路沿道での避難・救援活動を行うオープンスペースの確保
- ★病院周辺をはじめ、災害時に活用できる緑地・オープンスペース等の整備と維持管理
- ★防災船着場など災害時に機能する水上交通の検討

テーマ7：高水準の環境・エネルギー対策を進めるまちづくり

- 自然環境の保全・回復
- ★緑と水辺の骨格を活かした快適な都心環境と環境創造軸の形成